

様式第23号（第5条関係）

令和 7 年 3 月 31 日

笠岡市長 殿

所在地	笠岡市真鍋島4093
協議会名	真鍋島まちづくり連絡協議会
協議会長名	会長 川辺 昭政

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）
変更申請書（兼）実績報告書

令和 6 年 4 月 1 日付け笠岡市指令協第 258 号で交付決定を受けた交付金について、次のとおり交付額の変更を申請します。併せて、次のとおり活動が完了したので、笠岡市魅力あるまちづくり交付金交付要綱第5条の規定により関係書類を添えて報告します。

記

1 変更交付申請額 437,116 円
(交付金決算額)

[内訳]

(単位：円)

交付決定額 ①	変更交付申請額（交付金決算額）		返還額 ④
	当該年度支出額 ②	次年度繰越額 ③	
522,000	437,116		84,884

2 交付金が減額変更になった理由

経費削減と、徐々に変化は出てきたがまだまだ人の動きは厳しい状況だった為。

【添付書類】

- (1) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書（様式第24号）
- (2) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書
(様式第25号又は様式第25号の1)
- (3) 支払書類（レシート等）の原本（活動ごとに取りまとめたもの）
- (4) 事業の実施状況がわかる写真及び成果品
- (5) その他参考となる書類

様式第24号（第5条関係）

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 真鍋島まちづくり連絡協議会

活動No	1
活動名	山道の整備・保全事業
前年からの繰越金	<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	山道の散策と観光地を推進。
【効果】	瀬戸内の景観が楽しめる。来島者との交流、コミュニケーション作りができる。

2 実施期間

令和 6 年 4 月 1 日 ～ 令和 7 年 3 月 31 日
 (計画期間 1 年中 1 年目)

3 実施場所

島内全域

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 7 人（ア+イ）
 (内訳) 企画運営に関わった人数： 2 人（ア）
 その他関係人数（当日参加者等）： 5 人（イ）
 ○団体： (団体名) _____ , (団体名) _____
 (団体名) _____ , (団体名) _____

5 実施内容

島内全域の山道の草刈り、掃除と不用木の伐採、倒木の片付けと草枯らしの散布。平地から頂上への道に冬場枯れ葉がたまって滑りやすく、歩くのに危険であり清掃も実施する。活動成果の島内外への周知を強化する。（掲示板、インターネット等）

6 決算額

426,492 円（うち交付金分 426,492 円）

7 活動実施による成果及び課題

【成果】	他の団体との協働でかなりの成果を上げることができた。
【課題】	島民だけの成果には限界があり、ボランティア団体への呼びかけが必要。

様式第 2 5 号（第 5 条関係）

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 真鍋島まちづくり連絡協議会

活動No	1
活動名	山道の整備・保全事業

【収入の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
市交付金	① 440,000	440,000	0	当該年度分
その他収入	0	0	0	
			0	
			0	
			0	
計	440,000	440,000	0	

【支出の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
報償費	330,000	324,000	6,000	別紙「出納簿」のとおり
旅費		0	0	〃
需用費	107,000	102,492	4,508	〃
役務費	3,000	0	3,000	〃
使用料及び賃借料		0	0	〃
備品購入費		0	0	〃
0		0	0	〃
0		0	0	〃
			0	
			0	
計	440,000	426,492	13,508	決算額のうち市交付金分 ② <u>426,492</u>

市交付金の余剰金 ①-② 13,508 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③ 円 返還額 ④ 13,508 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 山道の整備・保全事業

費目 報償費

No. 1

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	6	6	26	スタッフ 他3名	山道整備報償費	97,000	97,000
2	6	7	17	スタッフ 他2名	山道整備報償費	20,000	117,000
3	6	7	24	スタッフ 他1名	山道整備報償費	6,000	123,000
4	6	11	11	スタッフ 他3名	山道整備報償費	20,000	143,000
5	6	11	27	スタッフ 他1名	山道整備報償費	6,000	149,000
6	6	12	2	スタッフ 他3名	山道整備報償費	27,000	176,000
7	6	12	16	スタッフ 他2名	山道整備報償費	20,000	196,000
8	7	2	5	スタッフ 他1名	山道整備報償費	10,000	206,000
9	7	2	17	スタッフ 他2名	山道整備報償費	30,000	236,000
10	7	3	3	スタッフ 他2名	山道整備報償費	30,000	266,000
11	7	3	10	スタッフ 他2名	山道整備報償費	17,000	283,000
12	7	3	12	スタッフ 他1名	山道整備報償費	8,000	291,000
13	7	3	19	スタッフ 他2名	山道整備報償費	17,000	308,000
14	7	3	24	スタッフ 他2名	山道整備報償費	16,000	324,000
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						324,000	

出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 山道の整備・保全事業

費目 需用費 消耗品費

No. 1 ↑ドロップダウンリストから選んでください。

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	6	11	11	ホリデイ	混合油、熊手他	71,962	71,962
2	7	3	31	櫛田農機	乗用草刈機 替刃	21,890	93,852
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						93,852	

自己評価シート

(令和 6 年度)

No. 1

協議会名	真鍋島まちづくり連絡協議会
活動名	山道の整備・保全事業

活動目的	山道の散策と観光地を推進。
実施内容	島内全域の山道の草刈り、掃除と不用木の伐採、倒木の片付けと草枯らしの散布。平地から頂上への道に冬場枯れ葉がたまって滑りやすく、歩くのに危険であり清掃も実施する。活動成果の島内外への周知を強化する。(掲示板、インターネット等)

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	3
	活動の目的・効果を地域の人みんなで共有することができたか。	3
	活動に参加するみんなで話し合い活動計画を立てることができたか。	4
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	3
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	3
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	4
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	4
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	4
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	4
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてみんなで話し合うことができたか。	3
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	4
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	3
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	3
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	3

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果 他の団体との協働でかなりの成果を上げることができた。	現状と課題 島民だけの成果には限界があり、ボランティア団体への呼びかけが必要。
--------------------------------------------	---------------------------------------------------

今後の活動の方向性・改善策

真鍋島を周知徹底することで、島内外の人達により楽しんで散策してもらえるようにする。次年度にはマップが完成し周知できるので、その為の実働としてメンバー数を増やす。

様式第24号（第5条関係）

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 真鍋島まちづくり連絡協議会

活動No	2
活動名	真鍋島定住促進プロジェクト
前年からの繰越金	○あり ●なし

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	真鍋島では担い手世代や児童生徒数の減少が深刻化しており、地域力の低下とともにコミュニティの核である学校の存続も危ぶまれている状況である。このため子育て世帯の定住を促進する。子育て世帯のいる他の島とのつながりも深める。
【効果】	子育て世帯の定住を促進することによって両問題の解消を図るとともに、マンパワーの増強によって地域づくりの新たな一手につながる事が期待できる。

2 実施期間

令和 6 年 6 月 1 日 ～ 令和 7 年 3 月 31 日
 (計画期間 年中 年目)

3 実施場所

真鍋島 笠岡諸島

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 15 人（ア+イ）
 (内訳) 企画運営に関わった人数： 10 人（ア）
 その他関係人数（当日参加者等）： 5 人（イ）
 ○団体： (団体名) , (団体名)
 (団体名) , (団体名)

5 実施内容

ホームページを通して島外に対し定住促進プロジェクトの周知を図りつつ、Iターン希望者に対しての真鍋島の生活に関する情報を提供する。

6 決算額

10,624 円（うち交付金分 10,624 円）

7 活動実施による成果及び課題

【成果】	メールでの問い合わせがあった。
【課題】	真鍋島に学校がなくなった。これまでのホームページの内容、活動の方向性を見直す時期がきた。色んな考え方、見方、それには関係人口を増やしていくことが何より大切だと思われる。

様式第25号（第5条関係）

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 真鍋島まちづくり連絡協議会

活動No	2
活動名	真鍋島定住促進プロジェクト

【収入の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
市交付金	① 82,000	82,000	0	当該年度分
その他収入	0	0	0	
			0	
			0	
			0	
計	82,000	82,000	0	

【支出の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
報償費		0	0	別紙「出納簿」のとおり
旅費	30,000	0	30,000	〃
需用費	8,000	0	8,000	〃
役務費		0	0	〃
使用料及び賃借料	11,000	10,624	376	〃
備品購入費		0	0	〃
宿泊費	33,000	0	33,000	〃
0		0	0	〃
			0	
			0	
計	82,000	10,624	71,376	決算額のうち市交付金分 ② <u>10,624</u>

市交付金の余剰金 ①-② 71,376 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③ 円 返還額 ④ 71,376 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 真鍋島定住促進プロジェクト

費目 使用料及び賃借料

No. 1

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	7	3	24	スタッフ	ドメイン及びレンタルサーバー料立替	10,624	10,624
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						10,624	

自己評価シート

(令和 6 年度)

No. 2

協議会名	真鍋島まちづくり連絡協議会
活動名	真鍋島定住促進プロジェクト

活動目的	真鍋島では担い手世代や児童生徒数の減少が深刻化しており、地域力の低下とともにコミュニティの核である学校の存続も危ぶまれている状況である。このため子育て世帯の定住を促進する。子育て世帯のいる他の島とのつながりも深める。
実施内容	ホームページを通して島外に対し定住促進プロジェクトの周知を図りつつ、Iターン希望者に対しての真鍋島の生活に関する情報を提供する。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	2
	活動の目的・効果を地域の人で共有することができたか。	1
	活動に参加するみんなで話し合い活動計画を立てることができたか。	2
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	2
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	1
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	1
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	1
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	1
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	1
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてみんなで話し合うことができたか。	1
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	2
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	2
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	2
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	2

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果 メールでの問い合わせがあった。	現状と課題 真鍋島に学校がなくなった。これまでのホームページの内容、活動の方向性を見直す時期がきた。色んな考え方、見方、それには関係人口を増やしていくことが何より大切だと思われる。
--------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------

今後の活動の方向性・改善策

中学校休校に伴うターゲット層の変更について周知し、ひき続き担い手確保の必要性について理解を求める。